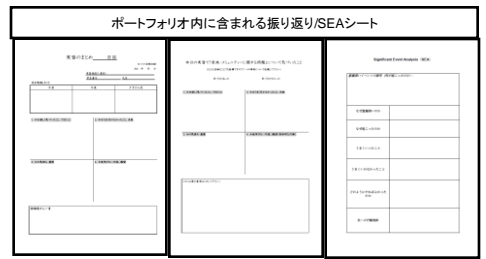
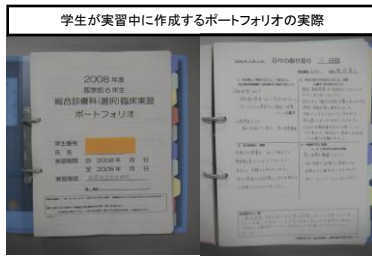


# 地域指向性総合診療医を育成するための地域医療必修実習カリキュラム構築に関する研究

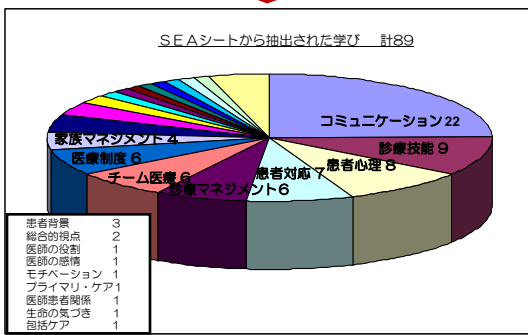
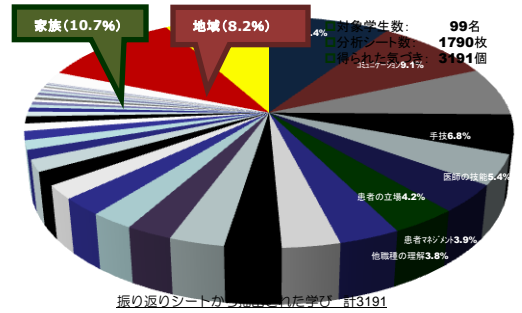
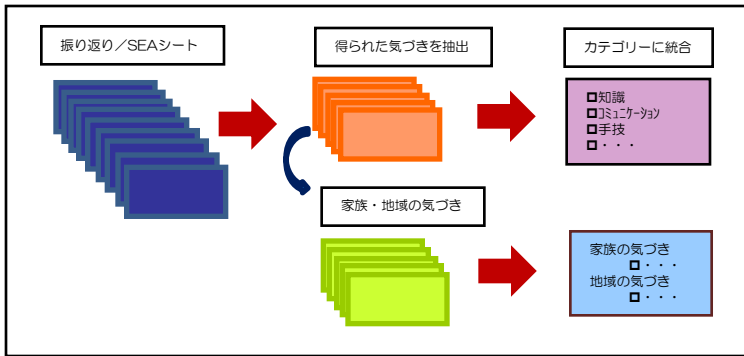
地域医療総合医学講座 宮田靖志・森崎龍郎・寺田豊・夏目寿彦・福森則男・山本和利  
松前町立松前病院 八木田一雄

地域指向性医師育成のための効果的な地域医療実習カリキュラム構築の研究は、国内では未だほとんど行われておらず、当講座がそのエビデンス産出に尽力している。実習ではポートフォリオに基づく学習を導入し、日々のリフレクションシート、Significant Event Analysis(SEA)、地域診断、ライフヒストリー研究、地域研究の課題により、患者の家庭・患者の住む地域をみる力が学生にどのように涵養されるかを検証している。地域指向性を涵養するには、これらの教育方略を組み合わせ実習体験後に地域指向性指導医との振り返り活動(リフレクション)が必須であることが実証されつつある。

実習協力医療機関内訳			
札幌市内 (12施設)	急性期病院	慢性期病院	診療所
	3	3	6
札幌市外 (21施設)	地域基幹病院		診療所
	15		6



## 地域医療実習で学生は何を学ぶのかを振り返り・SEAシート、およびSEAセッションのビデオ録画の質的データにより分析

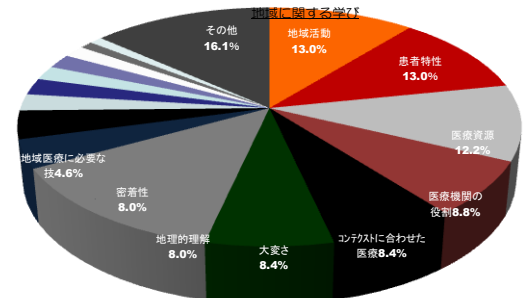
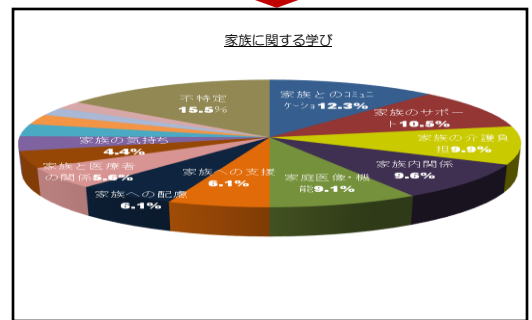


SEAセッションの様子



SEAセッションビデオ録画から抽出

学びの項目	頻度
医療システム	13
医師の役割	11
患者中心性	7
臨床判断	6
家族	6
生涯教育	6
知識と技能	5
コミュニケーション	5
ポジティブ・ロールモデル	4
倫理的問題	3
キャリア・チョイス	2
他の専門職の役割	2
ネガティブ・ロールモデル	2
地域と文化	1
医療の限界	1
死の神聖さ	1



◆家庭・地域に関する振り返りシートを導入することにより、双方に関する気づきの頻度が前年の実習生よりも約3倍増加しており、振り返りシートによる実習の視点の明確化が重要である。  
◆しかし、これらの学びは全体の10%程度であり相対的には多いものではない。  
◆SEAとして取り上げられる学びも同様の傾向であったが、医療の社会的側面やプロフェッショナリズム事項がより取り上げられる傾向もみられ、SEAを導入することで医療の医学的側面以外に焦点が当てられ学びが深まる。  
★地域医療実習が地域指向性を効果的に涵養するには多様な方略を組み合わせさらなる工夫が必要と言える。  
★現在、地域診断、ライフヒストリー研究、地域研究を時地域医療実習に導入しその教育効果を検証中である。

SEAでの振り返りの深さ

レベル	頻度 (%)
1	2 (2.9)
2	25 (34.7)
3	45 (62.5)
4	1 (1.4)

- レベル
1. 体験の描写のみにとどまる
  2. 体験の感想にとどまる
  3. 体験を一般化できている
  4. 今後の具体的な行動を提示している